

# 第二回定時総会

2012年5月30日

ハイアットリージェンシー東京

一般社団法人

日本マーケティングリサーチ協会

# 次 第

---

議長選出

議事録署名人選出

報 告

平成23年度事業報告及び

平成24年度事業計画について

議 案

第一号議案 平成23年度収支決算(案)について

第二号議案 役員(補欠)選任について

閉 会

# 定足数、議事録署名人、議長について

---

## ◆ 定足数

定款第18条 定足数は正会員社の過半数の出席  
(正会員社144社中 73社)

## ◆ 議長

定款第16条(議長) 会長 田下憲雄

## ◆ 議事録署名人

株式会社プローヴ・インパクト

末田 哲三 氏

株式会社マーシュ

町田 正一 氏

# 報 告

---

- ◆ 第37回 経営業務実態調査（速報）
- ◆ 平成23年度事業報告及び  
平成24年度事業計画について

# 2011年度 第37回経営実態調査

<速報>

現在 144社中・・・116社回収(回収率81%)

昨年は、最終的に123社からご回答いただいています。

**事務局からお願いしていますが、  
「日本のMR業界の市場規模」をの予測精度を  
あげるため、ご協力をよろしくお願いいたします。**

## 2012年度 第37回経営実態調査の概略

- ◆ 東日本大震災、円高、タイの洪水、欧州経済の危機などの影響で、厳しい状況が予想されたが、全体では前年プラスの見込み。リーマンショック前の2008年度に近いレベルまで回復した模様。

### 2011年度のJMRA正会員回答社116社の 調査事業売上と前年比(速報値)

◆ 2010年度 1,368億円

◆ 2011年度 1,397億円(前年比:102.1% ←速報値です)

◆ 前年に比べ売上増 : 52社

◆ 前年に比べ売上減 : 61社

◆ 前年に比べ増減±0: 3社

# 2012年度は、やや回復とみている！

◆会員社の対前年の景況判断は、「非常に下降」33%、「やや下降」15%と厳しい状況であった。2012年度は、やや回復とみている。

対前年実績 2011年度/2010年度比	今年度の見通し 2012年度/2011年度比
1. 非常に上昇 …… 8%	1. 非常に上昇 …… 4%
2. やや上昇 …… 21%	2. やや上昇 …… 31%
3. ほぼ横這い …… 24%	3. ほぼ横這い …… 44%
4. やや下降 …… 15%	4. やや下降 …… 10%
5. 非常に下降 …… 33%	5. 非常に下降 …… 11%

回収数 2011年度 123社(最終回収数)  
2012年度 116社(2011/5/24)

# 平成23年度(2011年度)事業報告(1)

## — 平成23年度(2011年度)の方針 —

### 基本方針

リサーチのウィングを広げよう  
「生活者を最もよく理解する産業」であり続けるために

### 重点課題

1. 環境変化に対応した積極的な情報発信活動の継続
2. 産官学と連携した研究活動の推進
3. ISO20252の普及と新たなリサーチ規範の模索
4. 「危機」に対応する事務局活動の推進

# 平成23年度(2011年度)事業報告(2)

## 1. 環境変化に対応した積極的な情報発信活動の継続

ソーシャルメディアの普及やグローバル化というマーケティング・リサーチをめぐる環境の急速な変化に対応し、積極的に事業活動を推進した

### ◆研修委員会 企画のトピックスセミナー

- 「ソーシャルメディア時代と調査の新たな価値」(会員社26名、一般6名、合計32名)
- 「マーケティング・リサーチャーのためのビッグデータ入門」(会員社85名、一般38名、合計123名)

### ◆経営者フォーラム

- 「ソーシャルメディア時代の調査とコンプライアンス」(会員社、合計54名)  
慶応義塾大学総合政策学部 新保史生准教授(JMRA理事)

### ◆『マーケティング・リサーチャー』の特集

- 日本型SNSがつなげる心地よい絆」(115号)
- 「ソーシャルメディア時代における口コミ行動とインフルエンサー」(117号)

### ◆10月、中国西安で開催された第3回APRCカンファレンスに参加

- 視察団には30人を越える参加があり、2人の代表者が発表を行った

# 平成23年度(2011年度)事業報告(3)

---

## 2. 産官学と連携した研究活動の推進

産官学との連携を深め、JMRAのプレゼンス向上を図る活動を行った

◆ **公的統計基盤整備委員会**

- 各省庁の担当者による講演(公的統計の民間事業者活用について)
- 「公的統計市場に関する年次レポート」の作成

◆ **JMRAセミナーにおける講演、機関誌『マーケティング・リサーチャー』への寄稿など、大学研究者とのコラボを積極的に推進**

◆ **アニュアルカンファレンスでは、初めて学生をターゲットにしたセミナーを開催し、好評を博した**

# 平成23年度(2011年度)事業報告(4)

---

## 3. ISO20252の普及と新たなリサーチ規範の模索

マーケティング・リサーチをとりまく環境変化に対応して、下記の活動を実施した。

### ◆ 日本でISO20252第三者認証が正式スタート(2011年3月～)

- 4社が取得
- 一部の公的統計において、ISO20252が入札時の加点ポイントとなる。
- クライアントサイドへの広報活動の実施

### ◆ 法務ハンドブックⅢ 正式リリース

- デジタル版、印刷版を用意
- 法務委員会において新たな法務課題について情報収集、議論を開始

### ◆ Guideline on Social Media [ESOMAR]の翻訳

◆ 今後も、環境変化に対応できる新たなリサーチ規範を模索していくことが必要

# 平成23年度(2011年度)事業報告(5)

## 4. 「危機」に対応する事務局活動の推進

東日本大震災に対応して、以下の活動実施した。また、事務局・会議室・研修室スペースの有効活のために改装を行うと同時に、セキュリティーの強化を行った

### ◆震災対応の会員社向けアンケートの実施

- 「事故・災害対応マニュアル」、「BCP(事業継続計画)」の必要性を感じている会員社が多いことを把握した。結果をJMRAホームページで公開

### ◆被災地に向けた募金活動(日本赤十字社を通じて被災地へ送った。)

- 第一次 700万円(4月13日)、 第二次 50万円(6月1日)

### ◆事務局・会議室・研修室スペースの改善とセキュリティー強化

- 研修室の拡充と間仕切りによる利便性向上
- 事務局スペースの拡充
- Pマーク審査部エリアの施錠によるセキュリティー強化

募金、アンケートへのご協力ありがとうございました。

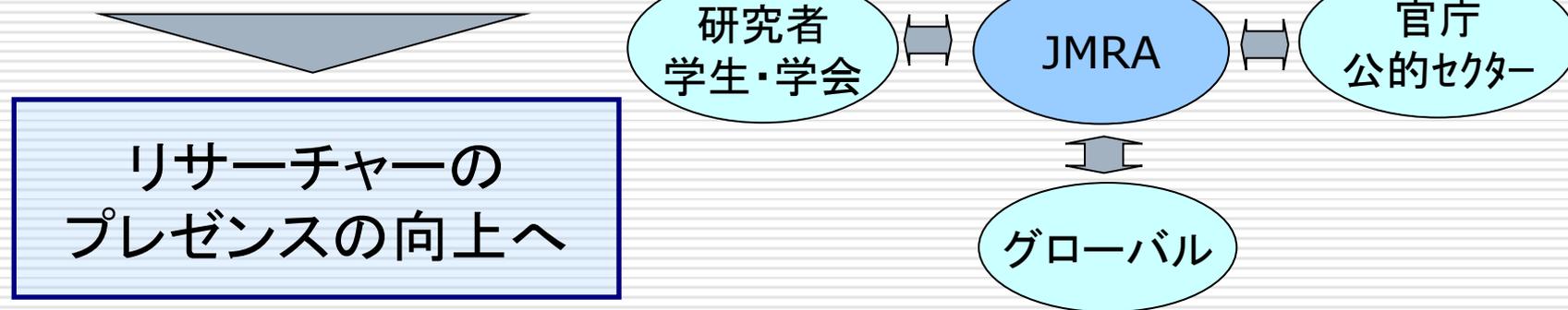
# JMRAはどこまで来たか？

- ◆ JMRAの「変身」は毎年、確実に進んでいる。

## 変化への対応と情報発信のできる協会活動の推進

- ◆ 環境変化に対応した積極的な情報発信によって初めて、業界内外のコミュニケーションが活発化し、情報が集まり、人が集まり、金が集まる

- 情報発信のできる専門性の確立
- 情報と人と金が集まる仕掛け作り
- 業界内外のJMRAファン作り



# 平成24年度(2012年度)事業方針について

## － 平成24年度(2012年度)の方針 －

### 基本方針

総会後の「事業計画プレゼンテーション」で、詳細にご説明いたします

### 重点課題

1. リサーチャーのプレゼンス向上のための積極的な情報発信
2. 環境変化に対応できるリサーチャー育成のための委員会活動の推進
3. ソーシャルメディア時代の新しいリサーチ規範の模索
4. 「JMRAファン」作りをめざした事務局活動の推進

---

第一号議案

# 平成23(2011)年度収支決算の件

---

# 平成23(2011)年度収支計算書(1)

## 収入の部

(単位:万円)

	<u>予算額</u>	<u>決算額</u>	<u>増減</u>
会費収入	8,200	7,823	377
実施事業収入	2,435	1,728	707
その他事業収入	4,539	4,431	108
雑収入・取り崩し収入	50	33	17
<b>当期収入合計</b>	<b>15,224</b>	<b>14,015</b>	<b>1,209</b>

# 平成23(2011)年度収支計算書(2)

## 支出の部

(単位:万円)

	予算額	決算額	増減
実施事業支出	6,802	5,753	1,049
その他事業支出	4,698	4,090	608
管理費支出	3,634	4,009	▲ 375
積立金	40	30	10
<b>当期支出合計</b>	<b>15,174</b>	<b>13,882</b>	<b>1,292</b>
当期収支差額	50	133	▲ 83
前期繰越収支差額	987	987	0
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>1,037</b>	<b>1,120</b>	<b>▲ 83</b>

---

第二号議案

# 役員(補欠)選任について

---

# 役員(補欠)選任について

理事に就任されていた株式会社アダムスコミュニケーション 山田勇夫氏が2011年9月28日付で、また、監事に就任されていた株式会社綜研情報工芸 村上智人氏が2011年10月19日付で、辞任されることを2011年10月26日開催の理事会において承認いたしました。

補欠については、2011年11月24日の理事会において、

理事に Ipsos日本統計調査株式会社 内田俊一氏

監事に 株式会社ユーティル 打田光代氏

に就任いただくことといたしました。

## 定款

### (役員を選任)

第22条 理事及び監事は、総会の決議によって、正会員(法人又は団体の場合にあつては、会員代表者とする。)のうちから選任する。ただし、理事または監事にあつては2名以上を正会員以外の者から選任する。

(役員任期)第25条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。」

# 事務局からお知らせ

---

◆引き続き、休憩の後、本会場で

## JMRA事業計画プレゼンテーション

を開催し、各委員会の活動について報告いたします。  
ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。  
(受付は午後2時45分からとなります。)

◆午後5時00分からは、会場「クリスタル」で、

## 情報交流会

を開催します。どうぞ最後まで、お付き合いください。